

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. アドミッションポリシーに基づいた選抜法の維持と質的評価を実施する。	→アドミッションポリシーに基づいた選抜法評価の検討回数。	B
2. 多岐にわたる選抜方法の設定と多様な資質をもった学生を受け入れる。	→多様な資質に富む学生（各種入試で入学した学生）の割合。それらの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数。	A
3. 各種入試の公正さや適切さを評価する。	→入試制度検討委員会内での検討件数。	B
4. 入学後の追跡調査の体制をつくる。	→入学後の成績、GPAの数値。	B

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 学生の受け入れ方針を明確化し、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行う。また、入学者選抜について定期的に検証する。 (現状説明) 人間福祉学部の理念や教育プログラムにふさわしい生徒を確保するためにアドミッションポリシーを定め、その観点から学生確保を目指し、学生の受け入れ方針について検討している。アドミッションポリシーの明示は学部ホームページ、入試要項などを通して行っている。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 各種入試ごとに委員会を設け、厳正なる審査を通し入学者を選抜することで、多様な資質を持った学生を受け入れている。さらに各種入試で入学した学生の割合、それらの志願者数、受験者数、合格者数、入学者数についても適切に検討している。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 入試制度検討委員会を設置し、検討を重ねることで、公正かつ適切に入学者選抜について措置している。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 入試制度検討委員会において定期的に検証している。
☆ その他	

《特定6項目データ》

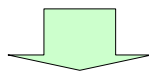
本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【人間福祉学部】		単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	%			40.6%	47.0%	43.7%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
表	入試形態別入学者数				→	→	→	大学基礎データ表15参照
表	学部の社会人・留学生・帰国生徒数				→	→	→	大学基礎データ表16参照
指標2	志願者総数	人			5,088	2,633	2,480	
指標3	志願者倍率	倍			17.0	8.8	8.3	志願者÷入学定員
指標4	入学者に占める近畿圏出身者の比率	%	—	—	—	—	—	近畿圏出身入学者数÷入学者数 (注)出身は出身高校の地域による

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	本学部の理念にふさわしい学生が確保できている。
小項目5.0.2	多様な資質に富む学生が多数入学してきている。
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



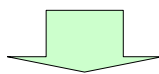
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	多岐にわたる選抜方法で入学してきた学生の成績、GPAについて検討を行う。
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○多様な学生の募集、受け入れについて、その検証が今後期待されます。

【学内委員】

○小項目5.0.1の現状説明における(方針)は、方針そのものを記載してください。

○現状説明などの記述はおおむね明確です。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、小項目によっては(5.0.3など)もう少し詳しく現状説明されることを希望します。

○編入学試験において募集人員を「若干名」としている場合、定員充足しているにも関わらず多くの学生を受け入れている場合は助言の対象となる可能性がありますので注意してください。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)において、水準評価として数値による評価がなされるものに注意してください。「4. 学生の受け入れ ③学部における過去5年の入学定員に対する入学者数比率の平均が1.00である」「同、④学部における収容定員に対する在籍学生数比率が1.00である」については、それぞれ助言や勧告の対象値が示されています。絶えず確認し遺漏のないようにお願いします。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

○小項目5.0.1(方針)

★ 多様な資質を持った学生を集める観点で、学部のアドミッションポリシーに応じて多様化した選抜方法(一般入試、AO入試、各種推薦入試、スポーツ能力に優れた者を対象とした入学試験など)を導入する。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保ー入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在学学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>

--	--